

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	1492600398	事業の開始年月日	平成23年11月1日
		指定年月日	平成23年11月1日
法人名	株式会社 日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語 さがみ東		
所在地	(〒252-0318)		
	相模原市南区上鶴間本町6-4-7		
サービス種別 定員等	■ 小規模多機能型居宅介護	登録定員	25 名
		通い定員	13 名
		宿泊定員	6 名
	□ 認知症対応型共同生活介護	定員 計	名
		ユニット数	ユニット
自己評価作成日	平成25年11月29日	評価結果 市町村受理日	平成26年4月18日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

地域に開かれた施設づくりをめざし、地域の祭りに出店を出したり、サロン活動（出かけたり、催して迎えた）を行っています。 地域との交流と地域への貢献を目標に「健康フェスティバル」を開催しております。 訪問では、ご利用者様ご自身の変化と生活スタイルに適したサービス提供ができるよう、ご本人様・ご家族と相談し、柔軟な対応を行っています。 通いサービスご利用中は、近隣の散策・定時の体操・多様（制作・音楽・運動・ゲーム等）なレクリエーションメニューを用意し、ご利用者様の様子に合わせて提供しており、楽しく過ごしていただいております。
--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成25年12月13日	評価機関 評価決定日	平成26年4月2日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

【事業所の概要】 この事業所は、小田急線相模大野駅南口から徒歩約12分の住宅地に位置する。建物は木造2階建ての1、2階部分で、同一法人のグループホームが併設されている。内部はバリアフリー設計で、1階はリビングに接して3室の多目的室とウッドデッキがある。事業所の名称「花物語」にちなんだ「花守」担当職員が、玄関やリビングを始め内部の各所に季節の生花を絶やさずに飾って、その色彩と香りで利用者や訪問する家族などの目を楽しませている。共有部分は職員がチェックシートを使って清掃の徹底を図り清潔を保っている。 【運営理念の実践と利用者へのサービス】 事業所理念のなかで「利用者の安全・安心を保ち、笑顔をもってその生活を支援する」ということに重点を置いて日々のサポートを実施している。職員が笑顔をもって接して利用者と会話を交わし意思の疎通を図って適切なサービスを行うことで、心安らかにゆったりとした気持ちで日々の生活を送っている。また、年間行事に様々なレクリエーションやイベント、外出を組み込んで散歩や遠方への外出を数多く行い、利用者が通いの時間をアクティブにかつ生き活きと過ごすことによって心身状況の低下を防いでいる。 【地域密着の視点に立った運営】 地域の自治会に法人会員として加入し、会報で行事の情報を得て「町内の清掃」や「地区の防災訓練」に参加している。事業所が主催する「健康フェスティバル」や「敬老会」に近隣の住民を招待して親睦を深めている。また、地域の「ふれあい祭り」の綿菓子出店、「ミニサロン」「納涼祭」、神社の「豆まき」「バーベキュー」などに利用者と共に参加して交流を深め、事業所を地域に定着させる努力をしている。近所の保育園児を、ひな祭りに招かれたお礼にクリスマス会に招待した。踊りを披露してもらうお返しに歌を歌うことにして、利用者と職員が一緒に稽古している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	花物語 さがみ東
ユニット名	小規模多機能型居宅介護

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
		○	2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅰ 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	人生の先輩であるご利用者様への言葉遣い、笑顔のある生活を送って頂けるよう、研修・ミーティング・毎日の申し送り時等に確認しております。	理念は4項目から成り、法人社は「照一隅」と共に玄関やリビングに掲示している。今年度は、理念の中で「安全、安心と笑顔」に重点を置き、職員に周知している。職員は、笑顔で利用者に話しかけ寄り添って必要な介助を行って利用者の生活をサポートしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月1回の公民館の茶話会に参加。 健康祭り・クリスマス・ひな祭りのイベントを通して交流。 事業所として防災訓練に参加、2か月毎の運営推進会議を実施しております。	地域の自治会に法人会員として参加し、地域の「ふれあい祭り」「納涼祭」神社の「豆まき」や下部組織の町内会の地区清掃や防災訓練に参加している。事業所で「健康フェスティバル」を開催し、地域住民4名の参加があった。保育園との交流では、ひな祭りに招かれたお礼にクリスマス会に招待し、踊りや歌の交歓会を行う予定である。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議上で施設の近況報告、取り組み、行事の宣伝等をお知らせしております。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会長、町内会長、民生委員、地域包括支援センター、ご家族に参加して頂き、2か月間の様子を報告行い、改善点、これからの取り組み等を話し合い、取り入れております。	運営推進会議は併設のグループホームと合同で2か月ごとに開催している。構成メンバーは、利用者・家族代表、自治会・町内会会長、民生委員、地域包括支援センター職員などである。事業所の活動状況や避難訓練の報告の後、参加者との意見交換を行っている。外部評価の結果及び利用者アンケートを報告している。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	相模原市高齢政策課、社会福祉協議会、地域包括支援センター、相模原市地域福祉推進課のご担当者と密ではないが、相談しています。	相模原市高齢政策課には実地指導や更新の書類提出などで連携している。市の社会福祉協議会地域福祉推進課から外出時の車椅子の貸し出しを受けている。地区の公民館で行われる「ミニサロン」に利用者が参加している。相模原市小規模多機能事業所連絡会に加入して研修会や講演会などに職員が行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修、ミーティング等にて全職員が理解しております。 ご利用者様に自由に足を運んでいただけるようなケアを実施しております。	運営規定や契約書に身体拘束を行わない方針を明記して契約時に家族・利用者に説明している。身体拘束排除についての研修を毎年実施している。車椅子使用の方は、通いのときには椅子やベッドに移乗して過ごしてもらっている。リビング入口は安全確保のため施錠しているが、玄関ドアは昼の間、開錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	社内研修、ミーティング等にて全職員が理解しております。 入浴時の観察、職員・ご利用者様の精神状況に応じて声掛けを行って防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	まだ、学ぶ機会はそれぞれがいろいろな手段で学んでおります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ケアマネージャー、施設長はもちろんですが、スタッフも説明できるようにしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様、ご家族等の意見・要望を職員に表しており、運営に反映させておりますが、部外者へは行っておりません。	家族・利用者の意見や要望は、運営推進会議や家族の来訪時、利用者の送迎時などに聞いている。他に連絡帳や電話などでも希望や意向を把握している。計画作成担当者が月1回訪問した際にも意見・要望を聞いている。家族から接遇についての意見があり、会議を開いて話し合っ結果を家族に伝え対応を改善した。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のスタッフ会議を通じて運営に関することを伝えているので、その場で聞いてさせております。	職員は、月1回のスタッフ会議や日々業務のときに意見や提案を述べている。また「申し送りノート」に多くの意見や提案が書き込まれている。半年ごとの個人面談のときも意見を聞いている。行事やイベントの企画、レクリエーションの種目の提案などがあり、皆で話し合って可能な限り実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個別面談を通じて勤務シフト、給与、公休、有給休暇等の説明し、安心して働けるような職場環境づくりに努めております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一部の職員しかできておりませんが、今後、全員が交代で行えるよう、機会をつくりたいです。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	相模原市介護事業者連絡会にて名刺交換し、交流を図っております。 また、小規模連絡会への出席他、講演会、研修会等へも積極的に参加しております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人とお会いし、アセスメントを行い、ニーズをご家族と一緒に考えています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ケアマネージャーと送迎スタッフが接することが多い。訪問に関しては担当職員が、ご利用者様の話を傾聴し、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ニーズを見極め、必要な支援をご本人、ご家族と話し合いながら、他のサービスを含めた対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の要望を取り入れ、スタッフと常に一緒に考えたり楽しんだりして過ごしていただいています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に来られるご家族には、ご本人の日々の様子を直接お伝えし、面会に来られないご家族には電話や手紙にてお知らせし、共に支えていく関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人が参加していた行事、サークル活動等への継続の支援に努めています。	地域の祭りや神社の豆まきなどに参加したときに、旧知の人と利用者が会って言葉を交わすことがある。訪問サービスのときに馴染のスーパーへの買い物支援を行っている。日常のサービスやレクリエーションなどで昔懐かしい事や食べ物の話が出るので、年末のイベントで懐かしい食べ物を出す企画をしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	天候の良い日にはできるだけ散歩に出かけ、外でおやつを食べながらコミュニケーションをとれるよう支援しています。 毎日のレクリエーションを通して関わり合い、支え合えるよう支援に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もいろいろなご相談、イベントの等のご案内を送付し、必要に応じてご本人、ご家族の経過をフォローし、相談や支援に努めております。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	できるだけご本人の希望に添えるよう考慮し、意向の把握に努めております。	当初は、アセスメントのときに本人の意向や希望などを聞き取っている。その後は、日々の支援の際に会話などを通して把握している。言葉にならない思いや、意思の疎通が困難な場合は、日常のサービスのときに話しかけて、仕草や動作を観察して察している。把握したことは「申し送りノート」に記録して職員同士で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族からの情報をもとに、生活歴、環境、暮らし方、背景等の把握につとめております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプランに沿って支援しております。 健康管理、自力動作の程度等の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様本人の希望とケアマネージャー、看護職員、介護職員の意見やアイデアを反映し、カンファレンスを行い、介護計画を作成しております。	介護計画は、アセスメントにより課題を抽出して作成し、初回計画は3か月で見直している。月1回の定期的な家庭訪問時に家族・利用者の意見を聞き、支援経過の記録やカンファレンスで職員の意見を把握して介護計画の評価を実施している。計画の見直しは通常は6か月、状態の急変があればその都度行っている。必要に応じて医師や看護師から医療に関するアドバイスを受けている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録として、一日の生活（食事・排せつ・入浴・睡眠など）を記入し、全員で共有し、申し送り時、スタッフミーティングに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	次々と変わるニーズに対応するために、ご本人やご家族とコミュニケーションを持ち、相談に応じ柔軟な支援に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人が地域の中での関わり方をコミュニケーションを通じて理解し、楽しく暮らせるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診はご家族が対応してくださっています。 家族から受診の様子、結果等をうかがい、事業所・訪問において支援しております。	利用者は、これまでのかかりつけ医を受診しており家族が対応している。家族の都合により職員が支援することがある。医療情報は聴き取って個人記録に記入している。看護師が週3回来訪し健康管理などを行っている。身体状況が急変したときはかかりつけ医に連絡するが、緊急時は事業所の協力医療機関の支援がある。	

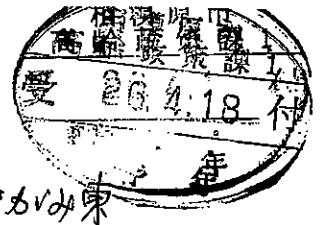
自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員は週2回の非常勤ということもあり、すぐには伝えることができないが、連絡ノートを通して伝えています。 緊急性が高い場合は、相談しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の様子をうかがったり、退院後の受け入れ態勢を整えるために経過状態の情報交換を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	一部のご利用者様、ご家族と話し合い、事業所でできること、ご家族にして頂くこと等、説明しております。 今後は全員に行っていきます。	利用者が重度化した場合の対応について、契約時に口頭で説明している。できるだけ自宅で看取りたいという家族の希望があり、かかりつけ医を交えた話し合いで協力体制を整え、自宅で看取りの支援を行った事例がある。実施後に看取りケアの経験について職員同士で話し合っており共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	一部の職員は研修にて訓練を受けておりますが、受けていない職員も多いので、今後行って身に付けたいと思います。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	近隣在住の職員だけの連絡網を別途作り、緊急時に早く対応できるようにと対策しております。 施設では、地域住民を巻き込む訓練はできておりません。 地域の防災避難訓練に参加した際には、地域にある高齢者の施設だとアピールしております。	防災・避難訓練は、年に2回併設グループホームとの合同訓練を行い、夜間想定訓練も実施している。管理者が地域の防災訓練に出ているが、事業所の訓練に地域住民の参加はない。災害備蓄は、飲料水、非常用食料、備品等を職員の分も含めて約3日分保有している。	今後は、自治会・町内会や地元消防団との連携を深め、地域住民との協力体制を整えることを期待します。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	命令口調ではなく、自然にお話や動作ができるよう促しております。 人生の先輩ですので、言葉も慎重に選んでおりますし、その方の背景を知ること、より尊重した言葉かけ、対応をしております。	毎年、接遇や利用者のプライバシー保護に関する研修を実施している。職員は、人生の先輩として節度ある態度で利用者への声かけや介助を行っている。送迎の際に玄関前で声高に話したりしないよう配慮している。個人情報にかかわる書類は事務所とリビングの施錠できる書棚に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活の場面場面で選んでいたできるように設定しております。 レクリエーション、入浴、食事（時間・メニュー）を選べる機会を作っております。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆっくり見守り、焦らすことなく支援しております。 レクリエーションも集団だけでなく、その時の状況を察して個別に楽しんで頂けるよう取り組んでいます。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員が語るよう皆様と一緒に鏡を見ながらブラシを使ったり、服を整え、洗面を促し、散髪の声掛けをしております。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前の口腔体操や、音楽を聴きながら、楽しくスムーズに摂取できるよう工夫しております。 禁食には違う食材で対応しております。 テーブルを拭いたり、箸を配って頂いたり、コップを片付けて頂いたりと一緒にしております。	メニューと食材は専門業者が定期的に配達し、職員が調理して出来たての温かいものを提供している。食事前に口腔体操を行い、当日のメニューを説明している。職員は付き添って見守りや介助を行っている。利用者の突然の献立変更要望にも柔軟に対応するのが見受けられた。誕生日には希望を聞いて行事食を提供している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は業者の献立、食材で作っております。 カロリー・営為用バランスは献立上掲載されています。 水分は、食事毎・10時・15時入浴後の他、ご本人の要望に都度応えております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、お一人で行える方には声掛け見守りを。介助が必要な方には個別に必要な部分を職員がおこなっています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	介助や促しが必要な方は排泄つ表に基づいて誘導・介助を行っています。 自力でトイレに行かれる方については、間隔を気かけ、空いている場合は声掛けを行っています。	排泄は、ほとんどの利用者が自立である。トイレは1階リビングに2か所、泊まりの部屋がある2階に2か所ある。4つあるトイレのうちの3か所は車いす対応である。1階には浴室に隣接したトイレがあり、失敗時すぐにシャワー浴で対応できる。利用者ごとの排泄チェックシートによりパターンを把握して声かけをしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材を使っている業者からの献立をもとにして調理、提供しております。 毎日ラジオ体操を行い、天候の良い時を選んで散歩に出かけたり、適度な運動を取り入れたケアを行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	通いの曜日に設定していて、事前に、必ずご本人の意思を確認しています。 入浴中はコミュニケーションを取りながら、見守り、一部介助を行い、楽しみして頂いております。	浴室・脱衣所は広く、空調設備によって温度管理がされている。通い、泊まりを問わず全員が毎回入浴している。入浴を楽しみに通っている人もいる。入浴を好まない方はほとんどいないが一番風呂を勧めたり、きれいな入浴剤を入れて誘ったりしている。菖蒲湯やゆず湯で季節感を楽しんでもらっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	デイルームソファの他、別室で休息して頂いております。休息中はカーテンで光の調整を行ったり、室温調整を行い、ゆっくり休んで頂けるよう配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者様一人ひとりを把握し、薬情報をしながらチェックし服用を確認しています。日々、変化がないか様子確認しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーションを通して体・頭・手などを使い、利用者が主体となり、一緒にカレンダーを作ったり、リズム体操で気分転換を図って頂いております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご希望により近所を散歩したり、周辺の催しには車で出かけたり外出の機会を作っております。	天気の良い日は車椅子の方も含めて職員が同行して散歩している。年間計画に外出行事が組み込まれ、季節ごとに車を使用して神社の初詣、地域の花火大会見物、遠方の鶴間公園、麻溝公園で花見や紅葉狩り、相模川の大風上げの見物などに出かけている。帰りに外食することもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現状行っておりませんが、買い物支援目的のレクリエーションを検討中です。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	独居でご家族にお会いする機会の少ないご利用者様には、ご本人の希望があった場合にお応えしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に季節を表す詩を飾り、ダイルムには生花を置いております。生花は毎週生け替えま す。 共同制作の作品やカレンダーを貼り、採光・温度・湿度調整にも気配りしております。	玄関内は広く、花守による見事な生花が訪問者を迎える。1階のリビングは清掃が行き届き、南向きで窓が大きく採光が良い。利用者と職員が一緒に造った季節の飾りつけや生花、カレンダーがそこかしこに飾られ、そのなかで利用者はゆったりと過ごしている。多目的室が3室あり、静養したり畳部屋にこたつを置いてくつろいだりできる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ダイルムにソファを置き、自由に腰かけて頂き、お話をしたり、他者と離れてテレビを見たりして過ごしていただいております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が希望された時は、使い慣れた物をご持参頂き、ご自宅に近い状態にしております。	泊りの部屋は、2階に完全個室が6室配置されている。カーテン、空調施設、照明器具、ベッド・布団、チェストなどが常備され、タオルや着替え、目覚まし時計やラジオなどを持ち込んでいる。利用者それぞれの馴染みの部屋が決まっており、できるだけその部屋が使えるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレのマーク表示や洗面所にて自力で洗面等行えるよう、支援しております。		



目標達成計画

事業所名

花物語こころみ東

作成日

平成26年4月11日

【目標達成計画】小規模多機能型居宅介護

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	みえないところ、時間帯の介護職員管理	夜勤帯、風呂場、送迎時、お茶間時の管理	面談(スタッフ)を通じ、介護に携わっているスタッフの健康状態(心身)利用者とのコミュニケーション	3ヶ月～6ヶ月
2	60	利用者の行き先について希望するサービスの実現	コミュニケーションを通じて把握できる技術で身につけ、月1回サービスを提供	レクリエーションを通じて発言できる場を増やし、延会など月1回の定例にできるよりにする	1ヶ月～
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。